



【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	0	20	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	5	0	0	55
	思考・推論・創造する力	20	0	5	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	0	5	0	0	15
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	期末に試験を実施して評価する。試験は、授業で学んだ教科書、提示資料、口頭説明の内容に基づいた問題が出題され、得た知識についてどの程度理解できているかが主に問われる。[配点]期末試験:60点、小テスト:20点				全体に向けた講評を授業時または Teams 上で行い、必要に応じて対面またはリモート等で個別に振り返りを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	後半にグループ発表を行う。テーマは日常生活活動の各活動について①特徴、②行う環境、③工程、④行うために必要な要素、⑤その活動ができない障害像、についてである。文献等に当たって調べることを怠りせず、与えられたテーマに対する妥当な意見・考察まで発表できることが求められる。				授業内で、発表ごとに意見交換とフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教 員 の 実 務 経 験	担当教員は作業療法士として5年以上の臨床経験を有する。						
実 践 的 授 業 の 内 容	臨床経験を通して得た知見も取り入れて、日常生活活動に関わる基本的事項について教授する。						
そ の 他	大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性はある。						